学校番号	１００７

令和３年度　情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	２単位	年次	１年次
講座名	社会と情報						
使用教科書	新編　社会と情報　（東京書籍）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実践的・体験的な学習を通して、コンピュータやネットワークについて学び、日常使っているコンピュータに対して、理解を深め良い使い方は何かを考えましょう。
・コンピュータやネットワークを利用したコミュニケーションについて演習等を通して考えましょう。

２　学習の到達目標

情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させ，情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集，処理，表現するとともに効果的にコミュニケーションを行う能力を養い，情報社会に積極的に参画する態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・情報の特徴と情報化が社会に果たす役割や及ぼす影響に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために、情報機器や情報通信ネットワークを活用し、情報社会に積極的に参画しようとする。	・情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報の特徴と情報化が社会に果たす役割と及ぼす影響について、思考を深め、適切に判断し表現している。	・情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するための技能を身に付け、効果的にコミュニケーションを行っている。	・情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するための知識を身に付け、情報の特徴と情報化が社会に果たす役割と及ぼす影響を理解している。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 実習作品 レポート、発表 相互評価・自己評価 等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 レポート、発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 課題作品 発表 実技テストの結果 等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期考査の結果 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

ターム	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1ターム	情報を表現する	○オリエンテーション ○情報とさまざまなメディア ○伝達の仕組み ○ネットワークで広がる世界 ○情報の共有 ○インターネットの利用 ○ディジタルデータの特徴 ○ディジタルの世界 ○数値と文字のディジタル化 ○画像のディジタル化 ○音と動画のディジタル化	○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:コンピュータの仕組みに興味をもち、学習に積極的に取り組もうとしている。 b:情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用するために，利点や問題点について考えることができる。 c: 情報を分かりやすく表現し効率的に伝達するために，情報機器や素材を適切に選択し利用できる。 d: 情報を分かりやすく表現し効率的に伝達するために，情報機器や素材を適切に選択し利用する方法を理解している。	授業観察 ワークシート 定期考査
2ターム	ネットワークを探索する	○IP アドレスとルータ ○サーバの役割と仕掛け ○インターネットへの接続 ○WWW ○電子メール ○情報検索 ○情報の信頼性 ○コミュニケーション手段の発達 ○コミュニケーションの特徴 ○上手なネットコミュニケーション	○	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a: 情報通信ネットワークの仕組みに関心をもち、情報通信ネットワークを安全に活用しようとしている。 b: 情報の受信及び発信時に配慮すべき事項について考えている。 c:効果的に情報を共有するため、情報機器を活用することができる。 d:情報通信ネットワークの特性について理解し、安全に活用するためのセキュリティ対策について理解している。	授業観察 ワークシート 定期考査
3ターム	情報社会の課題を考える	○インターネットにおけるのめり込み ○のめり込みをやめる ○出会いトラブルの危険性 ○個人情報やプライバシーを守る ○ネットワーク詐欺に遭わない ○情報セキュリティに気をつける ○相手を傷つけない ○慎重に投稿する ○著作権 ○情報を扱う責任	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a: 情報化が社会に及ぼす影響関心をもち、問題解決に取り組もうとしている。 b: 望ましい情報社会の在り方と情報技術を適切に活用することの必要性を考えさせる。 c: 個人認証と暗号化などの技術的対策や情報セキュリティポリシーの策定など，情報セキュリティを高めるための様々な方法を活用できる。 d: 情報を保護することの必要性とそのための法規及び個人の責任を理解している。	授業観察 ワークシート 定期考査

4ターム	情報で暮らしが変わる	○日常の中の情報システム ○データの有効活用 ○情報技術と仮想空間 ○情報技術と流通システム ○情報化と社会の変化 ○誰もが情報を利用できる社会 ○ディジタルデバイド ○システムの信頼性 ○問題解決 ○発想法	○	○ ○	○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a: 情報システムの種類や特徴に関心を持とうとしている。 b: 人間にとって利用しやすい情報システムの在り方について考えさせる。 c: 様々な意見を提案し集約するため、情報通信ネットワークを活用できる。 d:情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して問題を解決する方法を理解している	授業観察 ワークシート 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。